

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1991600253
法人名	株式会社信玄
事業所名	グループホーム クレール西八幡
所在地	山梨県甲斐市西八幡1769-1
自己評価作成日	令和 5 年 10 月 25 日
評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/19/index.php
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	山梨県社会福祉協議会
所在地	甲府市北新1-2-12
訪問調査日	令和 6 年 3 月 15 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

安定した生活を重んじて、規則正しい生活になるように支援をさせていただきます。記録はSOAP記録を採用し、介護者の主観とならない記録を実施することで、ご入居者様の為のサービスが提供できるように努めております。またお看取りを前提にご入居頂きます為、地域の在宅診療所、訪問看護師テーションさんとも連携しております。介護職も医療面のことについて勉強し、ご入居者様へのサービスの幅を広げて行くよう努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

甲斐市は独自の「QUE地域包括支援」を展開する、医療と介護が連携した街づくりを進めています。当事業所はその一角にあり介護支援を点で結ぶのではなく、医療機関などと連携して線で利用者様の暮らしを支えています。主観的情報・客観性情報をもとに利用者様の状態を把握し、アセスメントした内容から今後の計画を立てて支援しています。SOAP記録方式(それぞれの記載項目を正確に記載し正しく評価すること)から適切な支援がされています。事業所は利用者様の生活の場所、自分の家族だったらと自分に置き換えて支援することを大切にしています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input checked="" type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている(参考項目:2,20) (※窓越しの面会など距離をとった交流)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input checked="" type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行ききたいところへ出かけている(参考項目:49)(※感染対策を行い、可能な場所に出かけているか)(※戸外とは事業所の庭に出る等も含みます)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input checked="" type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念一覧を表記し、仕事に行き詰った時は、見直すなどして取り組んでいます。	理念一覧を表記し、仕事に行き詰った時は、見直すなどして取り組んでいます。	事業所は利用者様の生活を支える場であり、身内だったらという思いの理念を社員で共有し、支援しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	感染症もある為、積極的にはしていない。	感染症もある為、積極的にはしていない。	過去に、社員や利用者様にコロナ感染者が出たため、地域との付き合いは積極的に行われていません。地域の集合場所に場所の提供をしています。	ともに暮らす地域住民の一人として、地域の自治会活動などに参加することを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	日々の支援や工夫は、まずはご家族様と共有しております。その先に評価いただき、ご入居検討者の紹介を頂きました。	日々の支援や工夫は、まずはご家族様と共有しております。その先に評価いただき、ご入居検討者の紹介を頂きました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で頂きましたご家族様からの貴重なご意見を運営に活かしております。	運営推進会議で頂きましたご家族様からの貴重なご意見を運営に活かしております。	運営推進会議は、ご家族全員に案内を出しています。利用者様の状況、事業所の状況、事故報告などを報告しています。会議の内容は社員も共有しています。	貴重な意見の反映は、次の運営推進会議に報告すると委員の皆様は次に活かせることが出来、活性化につながると思います。欠席されたご家族にも報告できれば、家族との距離が近くなります。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	甲斐市の介護保険担当の方とは、大変ご迷惑をお掛けしてはいますが、いつもご協力頂き、大変感謝しております。	甲斐市の介護保険担当の方とは、大変ご迷惑をお掛けしてはいますが、いつもご協力頂き、大変感謝しております。	市町村との連携は、運営推進会議に出席していただき、協力関係を築いています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1の職員会議で、身体拘束防止委員会を開催して理解を深めているところです。	月1の職員会議で、身体拘束防止委員会を開催して理解を深めているところです。	身体拘束防止委員会を月1回開催し、身体拘束をしないケアを支援しています。社員は自分の親だったという思いで支援しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	アザがあるかないか、など入浴の際や、発見した場合には、必ず記録をし、写真を撮影して、注意を促しています。	アザがあるかないか、など入浴の際や、発見した場合には、必ず記録をし、写真を撮影して、注意を促しています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今後の課題です。	今後の課題です。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	問題ないと思います。その後も、何かご不明点やお気づきの点はないかなど、ご面会時に伺っております。	問題ないと思います。その後も、何かご不明点やお気づきの点はないかなど、ご面会時に伺っております。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	今後の課題です。	今後の課題です。	運営推進会議を開催した際、出来る限りご家族の意見は聞いています。家族アンケートからも毎月本人の様子を知らせてくれるのでありがたいとあり、要望、意見は反映されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議の場で伺っております。また個別面談も用いて話をする場を設けております。	職員会議の場で伺っております。また個別面談も用いて話をする場を設けております。	職員会議や日々の業務の中で、提案などを聞く機会を設けています。働きやすい環境に努め、社員の有給や希望休等の取得に努めています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与メッセージを添付して、それぞれが考える機会を提供しています。	給与メッセージを添付して、それぞれが考える機会を提供しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	独り立ちまで、専任トレーナーの1人が担当します。	独り立ちまで、専任トレーナーの1人が担当します。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所の介護支援専門員の方と情報を共有する機会をいただいております。	他事業所の介護支援専門員の方と情報を共有する機会をいただいております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居後1週間を集中援助機関として、各職員が話した内容についてSOAPで記録することに、全職員で把握しています。	入居後1週間を集中援助機関として、各職員が話した内容についてSOAPで記録することに、全職員で把握しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	お電話で連絡をするベースなどをお伺いした後、変化があればご連絡をするよう調整しております。また面会時なども、お話を聞ける貴重な時間なのでここでもお話を伺うように努めています。	お電話で連絡をするベースなどをお伺いした後、変化があればご連絡をするよう調整しております。また面会時なども、お話を聞ける貴重な時間なのでここでもお話を伺うように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	問題ありません。	問題ありません。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	問題ありません。	問題ありません。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	問題ありません。	問題ありません。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症もある為、積極的にはしていない。今後コロナが収束に向かえば緩和をしながら機会を増やしていく方向です。	感染症もある為、積極的にはしていない。今後コロナが収束に向かえば緩和をしながら機会を増やしていく方向です。	社員や利用者様にコロナ感染があったため、積極的に行っていません。事業所も課題について理解していません。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	問題ありません。	問題ありません。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今後の課題です。	今後の課題です。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや希望のヒアリングに努めています。本人様のヒアリングが困難な場合は、ご家族様へのヒアリングを実施しています。	思いや希望のヒアリングに努めています。本人様のヒアリングが困難な場合は、ご家族様へのヒアリングを実施しています。	思いや意向はケアマネが主に聞いています。社員も日々の中で聞いたときは、ケアマネにも報告があり、共有しています。意思疎通が困難な場合は家族に相談をして把握に努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴の把握のため、本人様へのヒアリングはもちろんですが、専用の用紙を用意しご家族様にも記入していただいています。	入居前の生活歴の把握のため、本人様へのヒアリングはもちろんですが、専用の用紙を用意しご家族様にも記入していただいています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各職員、入居者様の日々のアセスメントに努め、申し送り、記録を行い現状の把握に努めています。	各職員、入居者様の日々のアセスメントに努め、申し送り、記録を行い現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様へのヒアリングは勿論ですが、ご家族様には電話、面会時でのヒアリングを実施しています。その意見、希望は関係者でカンファレンスを開催。共有。即座に取り入れ反映しています。	ご本人様へのヒアリングは勿論ですが、ご家族様には電話、面会時でのヒアリングを実施しています。その意見、希望は関係者でカンファレンスを開催。共有。即座に取り入れ反映しています。	利用者が自分らしく暮らし続けるために、本人や家族の思いを反映し、介護計画を作成しています。事業所での様子は社員が共有し、見直しがあればご家族に連絡して、現状に合わせた介護計画を作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	サービス向上のため、実践しています。	サービス向上のため、実践しています。		

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々に必要なニーズ、そのためのサービスは即座に取り入れています。	その時々に必要なニーズ、そのためのサービスは即座に取り入れています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源の把握には努めていますが、独自の感染対策を行っているため利用はできていません。感染リスクが低い公園などは利用させていただいています。	地域資源の把握には努めていますが、独自の感染対策を行っているため利用はできていません。感染リスクが低い公園などは利用させていただいています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様にはご入居の前段階で、入居者様、ご家族様のご希望をお聞きします。ご入居者様の希望がないかぎり、クレールで契約させていただいている病院に変更していただき、日々の健康管理をしていただいています。	ご家族様にはご入居の前段階で、入居者様、ご家族様のご希望をお聞きします。ご入居者様の希望がないかぎり、クレールで契約させていただいている病院に変更していただき、日々の健康管理をしていただいています。	入居時に馴染みのかかりつけ医や希望する医療機関の希望を聞いています。希望がない場合には、事業所で契約している病院が主治医となります。往診もあります。薬の関係はご家族と協力しながら、十分注意をしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報共有は常に行っています。	情報共有は常に行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時は早期退院ができるよう連携に努めています。また、施設側も早期退院に備えて受け入れ準備を行っています。病院関係者との関係作りは、今後の課題といたします。	入院時は早期退院ができるよう連携に努めています。また、施設側も早期退院に備えて受け入れ準備を行っています。病院関係者との関係作りは、今後の課題といたします。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様との話し合いは、変化が出てきた早い段階から何度となく行います。施設として今後できること、できないことをご理解いただけるまで説明、共有を行っています。必要がある場合は、かかりつけ医に話し合いの場に出席していただく場合もあります。	ご家族様との話し合いは、変化が出てきた早い段階から何度となく行います。施設として今後できること、できないことをご理解いただけるまで説明、共有を行っています。必要がある場合は、かかりつけ医に話し合いの場に出席していただく場合もあります。	看取り前提で入居を受けていますので、利用者様に変化が出てきた段階でご家族と話し合いをします。地域の在宅診療所、訪問看護、主治医などの関係者の力を借りながら、事業所で出来る事、出来ないことを明確にし、日々変化する利用者様の支援をしています。	入居時に重度化や終末期に向けた方針が共有できていたら、ご家族は動揺が少なく、考える余裕が出来ると思います。検討して頂ければと思います。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	フロア会議で定期的に研修を行っています。	フロア会議で定期的に研修を行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	フロア会議で定期的に研修を行っています。	フロア会議で定期的に研修を行っています。	災害を想定した訓練が年2回行われています。水害対策では2階への避難を策定しています。	地域住民に避難訓練の様子を見ていただいて、少しでもグループホームについて理解が深まればと思います。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	耳元で話をしたり居室内でお伝えしたりと、配慮しております。	耳元で話をしたり居室内でお伝えしたりと、配慮しております。	社員同士で利用者様の近くで会話をしたり、トイレが開放っ放しになっていたり、あからさまな声掛けはしていません。年長者に対する丁寧な言葉かけで支援しています。	

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お茶についても、熱い方が良いか、冷たい方が良いかなど、選択できる人にはその場面の提供もしております。	お茶についても、熱い方が良いか、冷たい方が良いかなど、選択できる人にはその場面の提供もしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	座ってください。ではなく、どこへ行かれますか。極力制限をしない声かけを心がけております。	座ってください。ではなく、どこへ行かれますか。極力制限をしない声かけを心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自身で意思決定ができる方には、ご本人様の意思を尊重した支援を行っています。	ご自身で意思決定ができる方には、ご本人様の意思を尊重した支援を行っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い、拭きなどの後片付けを手伝っていただいています。	食器洗い、拭きなどの後片付けを手伝っていただいています。	食器は陶器を使用し、おいしく食べられる工夫がされています。ご飯とみそ汁は自前で、おかずは食品会社からの提供です。検査もあり、利用者様の満足度も分かります。状態の悪いものについては都度注意し、次回につなげています。食器洗いや食器を拭く等を利用者様と一緒にいき、好みなどの会話をしています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取、栄養摂取は1日の目標値を定めています	水分摂取、栄養摂取は1日の目標値を定めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	研修で口腔ケアの重要性を各職員で共有しています。使用品も、シートやスポンジ等、一人ひとりに合った物を使用し、口腔ケアを行っています。	研修で口腔ケアの重要性を各職員で共有しています。使用品も、シートやスポンジ等、一人ひとりに合った物を使用し、口腔ケアを行っています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりのパターンを把握し、誘導を行っています。ADLを維持するため、トイレでの排泄ができる支援を心がけています。	一人ひとりのパターンを把握し、誘導を行っています。ADLを維持するため、トイレでの排泄ができる支援を心がけています。	一人ひとりの排泄パターンに応じた個別の支援をしています。羞恥心やプライドに配慮し、スムーズにトイレに行かれるように支援をしています。行きたい時にトイレに行かれることが自立支援につながるため、個々のサインを見逃さないようにしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫も行っていますが、体操や腹部の便秘解消マッサージなども行っています。	飲食物の工夫も行っていますが、体操や腹部の便秘解消マッサージなども行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことのできる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそって支援をしている	本人様の気持ちを大切に柔軟に対応しています。	本人様の気持ちを大切に柔軟に対応しています。	週2回以上の対応です。入浴を拒否される利用者様もいるので「こういう対応したらいいよ」や「このシャンプー使用したら喜ばれたよ」など、個々の対応が共有され、入浴を楽しんでいただく工夫をしています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息も施設のルールではなく、一人ひとりの生活パターンに合わせています。夜間も消灯時間などは定めておらず、23時頃までは自由に過ごしていただいています。	日中の休息も施設のルールではなく、一人ひとりの生活パターンに合わせています。夜間も消灯時間などは定めておらず、23時頃までは自由に過ごしていただいています。		

自己評価および外部評価結果

事業所名 **グループホーム クレール西八幡**

自己	外部	項目	自己評価(実践状況)		外部評価	
			ユニット名(1階)	ユニット名(2階)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	投薬マニュアルを作成しており、それに則った支援を行っています。服薬確認、服薬後の観察も怠らず行っています。薬の目的、副作用等も、施設看護師からの情報の発信を共有しています。	投薬マニュアルを作成しており、それに則った支援を行っています。服薬確認、服薬後の観察も怠らず行っています。薬の目的、副作用等も、施設看護師からの情報の発信を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	裁縫が得意な方には、雑巾の作成であったり、きれいな方には掃除のお手伝いのように、個々に合ったお手伝いをさせていただいています。楽しみながらお手伝いをさせていただくことに意味があるので、お手伝いの内容やタイミングには注意しています。	裁縫が得意な方には、雑巾の作成であったり、きれいな方には掃除のお手伝いのように、個々に合ったお手伝いをさせていただいています。楽しみながらお手伝いをさせていただくことに意味があるので、お手伝いの内容やタイミングには注意しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在は、コロナ感染対策として公園の散歩のみとなっています。今後徐々に緩和していき、ご希望に沿った外出支援を行っていきます。	現在は、コロナ感染対策として公園の散歩のみとなっています。今後徐々に緩和していき、ご希望に沿った外出支援を行っていきます。	コロナ感染対策のため、積極的な外出は自重しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金のトラブルにならないようになるべくお金に関してはお持ち込みにならないようにお願いをしています。	お金のトラブルにならないようになるべくお金に関してはお持ち込みにならないようにお願いをしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お受けしました郵便物やご家族様からお預かりしましたお手紙等は、ご本人様へお渡ししております。	お受けしました郵便物やご家族様からお預かりしましたお手紙等は、ご本人様へお渡ししております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感はまだ足りておりません。レクリエーションを通じて、作成をして行けたらと考えております。	季節感はまだ足りておりません。レクリエーションを通じて、作成をして行けたらと考えております。	落ち着いた共有スペースで、利用者様もそれぞれの居場所があります。不快な臭いもなく安心して過ごされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	はい、させて頂いております。状態に合わせて、食事席等についても配慮しております。	はい、させて頂いております。状態に合わせて、食事席等についても配慮しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	帰宅願望の強さにもよりますが、ご自宅で使い慣れたものをお持ち込みいただくことでリロケーションダメージの軽減に努めております。	帰宅願望の強さにもよりますが、ご自宅で使い慣れたものをお持ち込みいただくことでリロケーションダメージの軽減に努めております。	利用者様やご家族と相談しながら、馴染みのものが持ち込まれています。帰宅願望のある利用者様には馴染みの物について触れることで、行動を紛らわすこともあります。お部屋はそれぞれの利用者様の個性が出ています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できること、分かることを踏まえた統一した声掛けを心がけております。	できること、分かることを踏まえた統一した声掛けを心がけております。		